



ビオトープを作ってみよう!

お家で自然観察しませんか?

生きものが住んでいる樹林や草地、水辺などをビオトープといいます。いくつかの材料で、庭やベランダにもビオトープを手軽に作る事ができます。ビオトープを作るには、地域の自然に似せることが大切です。なるべく地域に元々生えている草を利用して作りましょう。土地の所有者にお願いして、田んぼの周囲で水草を採取したり、秋から冬にかけて握りこぶしほどの大きさの土をもらって、ビオトープに入れてもいいでしょう。土に含まれた種から芽が出るかもしれません。また、メダカやモツゴなど、小魚を数匹放しておくくと蚊の幼虫であるボウフラを食べてくれます。

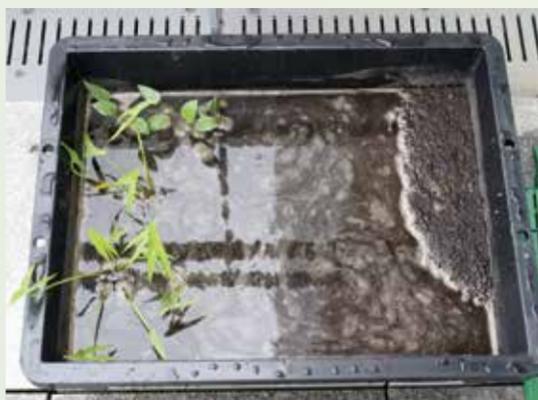
問環境・自然共生課 ☎724・4391



トンボを呼んでみよう!



黒土か川砂を10~15cmほど衣装ケースなどに入れ、水草を植え、水を入れます。水草を生やすことで、ヤゴがよじ登って羽化できるようになります。陸地を作れば、他のいろいろな生きものも来やすくなります。



トンボは、水面がキラキラ反射しているのを見つけて産卵にやって来ます。水面が水草にすべて覆われないようにして、トンボに見つけてもらいやすい場所にビオトープを作りましょう。

もっど!

お家に生きものを呼んでみよう

トンボ以外にも、チョウや小鳥等を呼ぶための工夫やヒントを紹介するパンフレットを、環境・自然共生課(市庁舎7階)で配布しています。町田市ホームページにも掲載しています。



講習会に参加しませんか?

「お家に生きものを呼んでみよう〜ビオトープ講習会」を10月6日開催の町田エコフェスタで実施します。詳細は9月15日発行の環境広報紙「ECOまちだ」をご覧ください。

屋外にあるビオトープ



上小山田みつやせせらぎ公園調整池では、アブラハヤやメダカ・トンボのヤゴ・水鳥などが生息しており、(特)鶴見川源流ネットワークが、毎月第4日曜日に清掃・草刈り等の環境保全活動と自然観察会を行っています。豪雨時に河川へ流入する水量を調整する池をすべてコンクリートで囲わず、底面に広く土の部分を残し常に水をためておくことで、自然の池に近い環境にしています。



家庭菜園にも生きものが来るよ!



無農薬栽培の家庭菜園にも、生きものがやって来ます。観察してみましょう。



野菜の上でバッタを発見! 葉っぱをかじる虫もいるけれど、ちょっとなら目をつぶっておすわけ。

注意事項

- 殺虫剤は使わないようにしましょう
- 周りに植物が広がったり、生きものが逃げ出さないようにしましょう

「まちピカ町田くん」を使った生きものレポートにご協力を!

市では、市民通報アプリ「まちピカ町田くん」を使って、スマートフォンから生きものを送っていただく調査を行っています。9月30日までに、素晴らしい報告・調査活動をしていただいた方に、記念品をお渡しするキャンペーンを行っています。親子で自然観察したり、この季節ならではの自然にふれたりする機会として、ぜひご利用下さい。これまでに集まった写真の一部を町田市ホームページで公開しています。



市HP [生きもの発見レポート](#) [検索](#)



注意事項

- 私有地に無断で入らない、生きものを採取しないなどマナーを守ろう
- ハチやマムシ、車の事故などに気を付けよう

生きものイベントにご参加下さい!

市では、市民の皆さんと共同でさまざまな生きもの調査を行っています。6月には薬師池公園のハス田でアメリカザリガニを釣り、外来種や生態系について学ぶイベントを行いました。外来種は在来種を食べたり、エサやすみかを奪ったりして、生態系を変えてしまうことが分かっています。生きものを捨てないなど、外来種を増やさないようにしましょう。

